

# 子どもは、未来そのものです。

お子さんへの  
未知のワクチン接種は  
どうぞ慎重に。



コロナワクチンによる、過去に例を見ない死亡・重篤者数が厚生労働省より発表されています。

コロナワクチン  
接種回数  
(全年齢)

約1億9000万回  
(2022年1月21日現在)

接種後  
死亡報告

全年齢層中

1,444 件

うち 10代は 6人

接種後  
重篤報告

全年齢層中

6,370 件

うち 10代は 387人

参考 インフルエンザワクチンの場合 接種回数：約5,600万回／死亡報告：6件／重篤報告：148件

ワクチン接種が原因で、  
日常生活が困難、  
学校に行けないという  
子どもたちがいます

コロナワクチンは、  
人類に初めて使われる遺伝子ワクチン\*1で、  
臨床試験\*2を終えておらず  
からだの中でどのように作用するかわかっていません。

\*1 インフルエンザワクチンなどはメカニズムが全く異なるものです  
\*2 新しい薬や知見に対して効果や安全性を確認するために行われる試験

感染しても、子どもは大半が無症状で重症化しません。  
コロナワクチンによる死亡報告例(6人)のほうが多いのです。

10代以下の  
コロナウイルス感染  
重症率・致死率

0.00%

重症者数 4人  
死亡者数 4人\*3

\* 令和4年2月1日時点の厚生労働省の新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(速報値)  
\*3 内訳：交通事故、重篤な基礎疾患あり(健康児はいません)



それでも...

子どもが病気になるのは不安...

不安は当然...  
でも

大丈夫です!



自然治癒する力が  
備わっています

第6波では、子どもの感染が多いと報道されています。心配ありません。コロナに感染しても大丈夫! ワクチンで作るよりもずっと強い免疫を手に入れることができます。子どもは風の子と言われるように、

鼻水や熱を出しながら免疫を鍛え元気に成長し、抵抗力を身につけていくものです。人間には体力や免疫によって自然治癒する力が備わっています。



遊ぶ・食べる・寝る  
免疫をしっかり機能

子どもは、外でよく遊び(ビタミンDを生成)、よく食べ(必要な栄養を摂取)、十分な睡眠を取ることで、免疫をしっかり機能させることが大切です。



過度な消毒はNG  
マスクもリスクあり

過度な消毒は常在菌を殺し、かえって免疫を下げてしまいます。マスクはウイルスを防ぎません。子どもの着用にはリスクがありますので慎重に!



## 東北有志医師の会

●宮城  
後藤均 (ごとう整形外科)★代表発起人  
佐藤壮太郎 (さとう内科循環器科医院)  
五箇猛一 (医師)  
後藤裕 (精神医)  
深見健太郎 (ドルクス動物病院)  
吉田晶子 (タキオンヒーリング研究所)  
佐藤暢亮 (鉄砲町さとう歯科)

●福島  
鎌田竜彦 (福島南循環器科病院)  
八子章生 (八子胃腸科内科クリニック)  
阿部素 (福島南循環器病院)

●青森  
小山内 秀二 (おさないクリニック)

●岩手  
齋藤 さやか (さやかクリニック)  
駒野 宏人 (北海道大学客員教授)  
小田島 悟 (おだしま歯科クリニック)  
久保 智秀 (KUBOクリニック)  
高橋 秀一郎 (しゅういちろう内科クリニック)  
田中佳博 (さわうち協立診療所)

●秋田  
長谷川 時生 (あきたすてらクリニック)  
金田 義彦 (歯科医師)  
山本 高敬 (山本歯科医院)

ほか、医療従事者、関係者など多数。

賛同される医師、歯科医、獣医の方を  
随時募集中!

WEBサイトのお問合せフォームからご連絡ください。



公式ウェブサイト

東北有志医師の会

<https://tohokuishi.localinfo.jp/>



Instagram



@tohokuishi

Facebook



【東北有志医師の会】